

荒川化学が業績予想を下方修正 一格付への下押し圧力が強まる

以下は、荒川化学工業株式会社（証券コード：4968）が公表した 23/3 期業績予想の下方修正についての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

- (1) 10 月 28 日、荒川化学工業は 23/3 期業績予想を修正し、売上高 830 億円（前回発表予想 900 億円）、営業損益 18 億円の赤字（同 16 億円の黒字）、最終損益 35 億円の赤字（同 9 億円の黒字）と公表した。営業損失は水素化石油樹脂を製造する欧州拠点での天然ガスの歴史的な高騰や原料事情の悪化による採算悪化、半導体不足や中国におけるロックダウンなどを背景としたスマートフォンや自動車関連分野、ディスプレイ関連分野での生産調整による光硬化型樹脂の販売減などを受けたものである。欧州での水素化石油樹脂の製造は 23 年 3 月に終了する予定であり、それに伴う固定資産の減損損失の計上によって、営業損失に比べ当期純損失が拡大する見通しである。
- (2) 23/3 期第 1 四半期末で 593 億円の自己資本を有しており、当期純損失の計上による財務面への悪影響は限定的と考えられる。ただ、新工場の建設などを受け有利子負債が増加する一方、原燃料価格が高騰し、自動車や電気・精密機器関連の需要が軟調であるなど、収益環境が悪化している。千葉県の新工場の稼働開始で償却負担が増すこともあり、当面の利益水準は低位にとどまる可能性がある。格付への下押し圧力は強まっていると判断しており、主力製品の販売や新工場の稼働の見通し、その他収支改善に向けた取り組みを精査の上、格付に反映させる方針である。

（担当）藤田 剛志・佐藤 洋介

【参考】

発行体：荒川化学工業株式会社

長期発行体格付：A- 見通し：安定的

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であると問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であると問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官（格付）第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル